

会議録

1 会議名	平成19年度 第2回河内自治会議
2 開催日時	平成19年5月30日(水) 午後3時35分～午後6時00分
3 開催場所	河内地域自治センター 第1会議室
4 出席者	<p>【委員】</p> <p>中村祐司(会長), 須藤貢(副会長), 青木正子, 上山茂, 太田照男, 大田原加久司, 菊地久美子, 小嶋由美子, 須藤誠一, 五月女勝正, 五月女純, 対馬博幸, 手塚米子, 永見幹夫, 西岡隆義, 日向トモエ, 前野巖, 松谷悦広, 森本喜美子, 山下景二</p> <p>【事務局】</p> <p>自治振興部長(途中退席), 河内地域自治センター所長, 地域経営課長, 地域経営課主幹, ほか6名</p> <p>【関係課】</p> <p>政策審議室長, 都市計画課長</p>
5 公開・非公開	公開
6 傍聴者数	<p>【傍聴者】 1名</p> <p>【報道】 1社</p>
7 会議経過	<p>(1) 開会</p> <p>(2) 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画行政の仕組みについて ・平成19年度の河内地域の主な事業について <p>(3) 質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合併市町村基本計画の執行状況について <p>(4) 協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合併市町村基本計画の地域別主要事業について <p>(5) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市景観計画について <p>(6) 閉会</p>

1 開 会

事務局	<p>ただいまより、第2回河内自治会議を開催させていただきます。</p> <p>本日の出席者数は、20人全員が出席しておりますので、会議が成立することを報告します。</p> <p>はじめに会長からご挨拶をいただき、その後の進行を会長にお願いいたします。</p>
会長	<p>みなさん、こんにちは。前回は第1回目ではありましたが、皆さん積極的で、お力を貸していただけることを確信しました。</p> <p>また、会議の後の意見交換会で市の職員とも話をしましたが、今まで宇都宮市は、大きな都市であるがゆえに、地区間の整合性やバランスを取る必要があるなど、意思決定をするときに課題があったといいます。しかし、これからは、自治会議の提案を河内モデルとして、それを宇都宮市全体に取り入れて、課題解決は河内を突破口にしていきたいという話をしました。</p> <p>会議も第2回となります、いよいよ議論がスタートとなります。私も精一杯やっていきたいと思いますので、よろしくお願いしたい。</p>

2 報告事項

(1) 計画行政の仕組みについて

事務局	<p>宇都宮市では、計画行政ということで、事業を行う際には計画的に進められている。合併市町村基本計画の主要事業も全市的な流れの中で進められることから、あらかじめその仕組みについてご説明し、この後の議論の参考としていただきたい。</p> <p>内容については、政策審議室から説明させていただきます。</p>
政策審議室長	(資料1により説明)
会長	第4次総合計画の基本計画は、14年度から18年度までの計画であり、現在策定中の総合計画は20年度からのものであることから、現在の19年度は、ある意味空白期間である。しかし、実施計画は19年度から20年度となっていてズレがあるが、どういうことになるのか。
政策審議室長	第5次総合計画を18年度中に作る予定でしたが、合併があるので1年先延ばしした。19年度については、それまでの計画を踏襲して実施計画を作り、空白期間を補完している。

(2) 平成19年度の河内地域の主な事業について

事務局	(資料2により説明)
委員	区画整理事業の進捗は、大体何パーセントくらいできているのか。また、今年度にはどのくらいになるのか。
事務局	現在では、約1割程度と聞いている。ただ、今年度の実施でどのくらいになるかまでは現在事務局では把握していません。予定では平成30年度までの計画で事業を進めている。
委員	体育祭と産業祭は、イベントの記載はあるが、文化祭はどこでやるのか。
事務局	文化祭は、地域住民独自の事業として、市が主催するための予算は無い。また、文化祭は生涯学習センターの事業となるため、地域自治センターの管轄ではなくなってしまった。体育祭と産業祭は、合併に伴う調整で、地域性を残すものとして一定の期間残すこととして予算化されている。体育祭は従来は町の主催であったが、実行委員会主催として市の主催ではなくなっている。 文化祭と2月から3月に行う学習発表会の負担金として195万9千円が計上されています。文化祭にいくらかけられるかということについては、文化協会等を中心とした団体と協議したいということであった。
委員	交付金と補助金については単年度の予算であるということだが、来年度どうなるか分からぬということで、来年度は、また考えますということ。
事務局	ものによっては、縮小されて事業が無くなるという可能性もある。 合併協議に伴って、地域にあるイベントの予算を暫定的に残しているが、半永久的に残るということではない。
委員	「農地・水・環境保全向上対策推進事業」には県費が含まれるのか。
事務局	資料に記載されている693万円は、市が負担する額で、事業費全体の1/4になる。残りは、県が1/4、国が2/4負担することとなっている。
会長	いろいろな質問があったが、変わるものも実質的には変わらないものとあるようだ。ここに載っているものは、主なものであって、全てではないだろう。また、額から見ると区画整理事業が6億、運動公園整備が1億と大きくなっているのが分かる。 事務局に聞きたいのだが、先程説明があった市の実施計画には河内と上河内の分が含まれているのか。

事務局	19年度から20年度の実施計画には河内と上河内の事業は含まれていない。今説明した上河内と河内の主な事業は、予算の大綱の43ページに掲載されている。
会長	現在は、実施計画に河内と上河内の分が含まれていないことが分かった。

3 諒 問

合併市町村基本計画の執行状況について

会長	それでは3の諒問に移ります。合併市町村計画の執行状況についての諒問について事務局から内容を説明してください。
事務局	ただいまの合併市町村計画の執行状況については、本日付で市長より諒問されております。本日は市長に代わり自治振興部長からお渡しさせていただきます。
自治振興部長	合併市町村基本計画の進捗状況について諒問します。 宇都宮市地域自治会議条例第3条第2号の規定に基づき、合併市町村基本計画の執行状況についての意見を求める。宇都宮市河内自治会議会長中村祐司様、宇都宮市長佐藤栄一、自治振興部長代読。よろしくお願いします。
	(会長へ諒問書を手渡し、委員へ資料3を配付)
会長	今の諒問について事務局から説明することはありますか。
事務局	諒問について説明します。自治会議の重要な役割のひとつとして、市長の諒問に応じて、合併市町村基本計画の執行状況に対して意見を述べるということがあります。本日諒問がされました。 先程政策審議室から計画行政について説明がありましたが、事業を実施していくためには、実施計画に載せる必要があります。基本計画の主要事業を進めていくにあたって、地域の意見を反映させるためには、8月から始められる実施計画の作業に間に合うように7月末までに意見を出さないと間に合いません。本日諒問を受けて7月末までと期間が短いのですが、それまでに答申書を取りまとめなければなりません。 ただ、答申書に記載されたことが必ずしも実施計画に計上されていくというものではありません。 また、答申書については、姫路市の香寺地域のものを参考資料として

	お手元にお配りしていますので、ご参照ください。
会長	<p>合併市町村基本計画は、前回皆さんにもよく読んでいただきたいとお願いしたところです。私も読みましたが、あまり具体的なことは書かれていませんが、中に河内地域の現状と課題なども書いてある。</p> <p>来年度に向けた実施計画との関係は、時間との競争となる。かなり具体的なことが書いてある他市の答申書を見させていただいたが、自治会議の答申には雛形が無い。どれだけ具体的に踏み込むか、抽象的なものとするか、どのような答申とするのかは、委員の皆さんと考えていきたいと思います。できれば私は、具体的なことをしっかりと書き込んだものとしていきたいと思っていますが、委員の皆さんには自由な意見を出してほしいと思います。</p> <p>それでは、ここで一旦休憩を取りたいと思います。</p>

4 協議事項

合併市町村基本計画の地域別主要事業について

会長	<p>それでは、協議に入る前に、まず合併市町村基本計画の主要事業について事務局から説明してください。</p>
事務局	<p>(資料4により説明)</p> <p>また、お手元に、旧河内町のときの総合計画と実施計画を参考資料としてお配りしました。</p> <p>総合計画は、17年度に作成した長期的な展望をまとめたもので、当時の町ではどのようなことを課題として認識していたのか、住民はどのような要望を持っていたのかを知る資料となります。実施計画は、総合計画を具体化するために、18年度に作成したものです。この中に重点事業が記載されているが、小学校の耐震化や総合運動公園整備事業、岡本駅前周辺整備事業、岡本駅西土地区画整理事業、公共下水道整備事業などを重要なことと考えていました。</p> <p>ただし、これは当時の町の重点事業ですが、今後、新市として改めて検討していくことになりますので、その点をご了解いただきたい。しかし、これから議論の参考となるものと思いましたので、配付させていただきました。</p>
会長	<p>総合計画は18年度から27年度、実施計画は19年度から20年度となっている。確かに今は宇都宮市であるが、当時かなりのエネルギーを費やしてできたものであるので、議論の情報源として利用していきた</p>

	<p>いと思います。ぜひ後で目を通しておいてほしい。</p> <p>先程諮問を受けたが、答申は毎年出すであろうから、今回は20年度についてのものとなるのか。</p>
事務局	<p>継続する事業もありますので、20年度以降と広く捉えていただいたほうがよい。</p>
会長	<p>それでは、フリートーキングで皆さんから質問やご意見をいただきたいと思います。主要事業でもよいし、基本計画全体に関することでも結構です。</p>
委員	<p>第5次総合計画が策定される予定だとのことだが、これに河内のことが反映されるのだろうか。諮問の答申には総合計画に反映されるようなことも含んでよいのか。</p>
会長	<p>諮問されたことは、合併市町村基本計画の執行状況についてであつて、計画の主要事業をどうするかということとなる。</p>
事務局	<p>計画行政の仕組みの資料を見ていただくと、合併市町村基本計画と総合計画とに関連を持たせるように考えられている。第5次については策定作業中なので正確には言えないが、皆さんから答申という形でその旨を言っていただければよいと思う。</p>
委員	<p>資料4の表には未実施のものが目立つが、これは予算が取れないから未実施となっているのか。</p>
事務局	<p>未実施の事業については、今後実施時期や事業量、実施手法などを今後検討していくこととしている。</p>
委員	<p>執行状況というより、市の全体に対して河内がどのようにしていくかという方向付けの議論となる。細かい事業への答申というより、まちづくりの目標と基本方針について地区としてどうしていくかという答申として、大きな方向付けをするほうが良いのではないだろうか。</p> <p>資料を見ると人口の減少などいろいろな問題があると思うが、どうやって人を呼び込んでいくとか、そのために答申で方向付けをして、事業をどうしていくかということを言えばよいと思う。</p>

委員	<p>今までの資料を見ると方向性は示されているが、具体性が乏しいと思う。例えば農業振興とあるが、具体的に何をすれば振興されるのか、具体的に書かないと答申にならないのではないか。</p> <p>一つ目は、まちづくりの基本である生活基盤の整備をきちんとやってもらう必要があると思う。下水道の整備などは新市域内に格差があるだろうから、できるだけ早く旧宇都宮市域と同じレベルにしていってほしいと思う。それから道路整備や区画整理についても同様だと思う。これについて、どのようなことをしてもらうか具体的に書くべきだと思う。</p> <p>二つ目は、宇都宮市の中で河内地区はどのような役割を担う地区になるかを考えるべきだと思う。この地区は、商業地域でも工業地域でもないので、やはり農業地域だと思う。では、農業振興をどのようにするかというと、付加価値の高い農産物を生産し、その直売の場や、農村体験学習の場を整備し、農業による憩いの場として他の地域の人たちに来てもらうようにするべきだと思う。</p> <p>三つ目は、活気や生きがいのある地域となることが大事だと思う。そのためには人の交流が必要であり、癒しや憩いの空間を整備して人を呼び込むことができると思う。</p> <p>また、答申を7月に出すには、前回説明されたスケジュールを前倒しして、6月に2～3回やってもよいのではないか。</p> <p>それから、我々委員自身もどこまで河内地区を知っているのだろうか。地域の中の問題のあるところや自然が豊かな地域の良いところを一度見る必要があるのではないか。机に向かって会議をするより、そのようなことをする方が議論を速く進めができるのではないかだろうか。ぜひ現地を見に行くような機会を作つてほしい。</p>
会長	<p>私自身もそのように感じていて、事務局にも希望している。希望者を募って実際の現場に行くようにしたいと思う。</p>
委員	<p>今までの事業はハード整備ばかりだったが、もっと河内らしさをアピールするにはソフト事業が必要なのではないか。こんなにすばらしい川や水田という景観があるのだから、これを生かすことでアピールすべきだと思う。河内地区は、今までの宇都宮とは違うというところがあるのでないだろうか。農業に関しては、NPOによる田んぼ学校などをしているが、独特なことをアピールする場になると思う。</p>
委員	<p>地域の目標像には水と緑と書いてあるが、私が住む駅前地区には水も緑も無く、工業団地に囲まれている。ぜひ駅前に水のある公園を造ってほしい。また、図書館や生涯学習センター周辺を文化ゾーンとして整備してほしいと思っている。</p>

委員	地域をどうしたいのかということについては、町の総合計画に特徴などが書いてあるので参考にするべきだと思う。これを参考として特色を出していかないと、河内は、市の単なる一部となってしまう。
会長	合併では以前の計画を尊重して基本計画の主要事業に反映させていが、宇都宮市の中の河内地区でしかないので、そのバランスを取ることが難しいと思う。しかし、河内地区が積極的に発言していく、それが宇都宮を押し上げていくこともできるのではないか。そういうことを議論していきたい。
委員	市の総合計画を見ると北東部地域がないので、そこが河内と上河内になるのだろう。各地区の特徴を見ると、河内が打ち出した水と緑や水田と住みよい土地ということは、他に無い特徴だと思う。旧町の総合計画に載っているものを理想とすれば、ここに入るべき駒になるのだと思う。全体的な宇都宮市を考えても、河内地区は、住環境、緑、水というキーワードとなっている。この特徴をもっと現していけば方向性が見えてくるのではないか。
会長	<p>合併をした後は、宇都宮の一地区なのだから、市全体のことを考えてといわれても、委員の皆さんにとって、それは言われても難しいことなのではないかと思う。</p> <p>そのときに全体の一部であっても踏み出したことを答申の中で言うのか、もしくは、主要事業を実施してほしいという抽象的な数行で済むような答申にするのかは、皆さん次第だと思う。</p> <p>ただ、姫路市の答申書を見ると具体的なことが盛り込まれていることが分かる。我々の答申をどのようにしていくのかについても意見を出していたいただいて、意見をまとめて、次回たたき台のようなものを出せればよいと思う。</p>
委員	<p>答申については、抽象的でなく、具体的なことを踏み込んだものとする方が良いと思う。</p> <p>それから、全体的なことになるが、宇都宮市の各種の計画を見ているとカタカナを少なくしてほしいと感じている。こういう計画は、多くの市民が見るものなので、分かりやすいものを今後考えていくてほしい。</p>

会長	<p>いろいろと貴重な意見をありがとうございました。</p> <p>それでは次に、次回以降についての話をさせていただくが、あと1回で答申をまとめるのは難しいので、6月にもう1回と7月初旬に1回開催したいと思っている。</p> <p>先程、地域内を見に行くということも出たが、私自身も見させていただきたいと考えていたところであった。視察に行くことは可能か。</p>
事務局	皆さんの希望があれば対応できる。
委員	どこを見に行くのがよいか。
委員	<p>河内は、水と緑のまちということなので、どこにどういう自然があるかを見るのが良いと思う。例えば、谷川の保全地などのすばらしい自然も十分に知られていないと思う。</p> <p>また、駅西はどうなっているかなど、基盤整備もどこが問題なのかというところも見てみれば良いと思う。</p>
委員	一番必要なのは岡本駅西地区周辺だと思う。事業が遅れていると聞いているが、近くなのだが、私自身もそこに入ったことは無いので、現状を見ることが良いと思う。
会長	それでは、今のような意見を基に事務局に場所を設定していただき、日時についても一任していただきたい。参加できる方が参加するようなものとしたい。
委員	学校が老朽化しているところもあるので、その現状も見たいので入れてほしい。
会長	<p>次回の会議の前に視察を行うこととして、日程などを早めに連絡させていただきますので、お任せいただきたい。</p> <p>会議は、6月に1回と7月に1回とするようにしたい。これもできるだけ早くご案内させていただきます。</p>

4 その他

会長	それでは次に、その他に移りますが、今回は、景観条例についてお知らせがあるということで、都市計画課が来ていますので、説明をお願いします。
都市計画課長	(景観条例説明会について説明)
会長	その他について、委員の皆さんから何かありますか。
委員	要望になるが、河内町にはホームページがあったが、現在は無くなってしまった。市のホームページを見ると、各地区のホームページがあるのだが、河内でも地区のホームページを再開してほしいと思う。
事務局	いつから始めるとは言えませんが、現在開設のための準備を進めているところです。
会長	それでは、皆さん、ありがとうございました。 全員参加とはいきかないと思いますが、視察をしてみようとか、答申も具体的にやっていこうという積極的な声が上がってきました。次の会議につきましても、できるだけ早めに日程調整をしてご連絡させていただきますので、皆さんも忙しいとは思いますが、ご出席について、よろしくお願いします。 それでは、また次回もよろしくお願いします。本日は、どうもありがとうございました。